

徳島県立那賀高等学校

せせらぎ新聞

第75号

発行/ 那賀地域中高一貫教育
研究委員会事務局
(徳島県立那賀高等学校内)
電話: 0884-62-1151
FAX: 0884-62-2590
那賀高校ホームページURL
http://naka-hs.tokushima-ec.jp/

「地域を輝かせる人財」の育成をめざして！ 地域とともにある学校づくりの推進



校長 山本 珠紀

山々に囲まれ、那賀川のほとりに佇む那賀高校。五月には、爽やかな風とともに二回ほどツバメが校長室に飛び込んできました。豊かな自然と人情味あふれる地域の温かさに包まれ、本校の生徒たちは、明るく素直で、元気に挨拶ができる、社会や地域の皆様から愛される生徒となるべく、日々成長を続けています。この素晴らしい環境のもと、本年も「Antarctica」をめぐり取り組みたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症への対応が迫られて、はや三年目。昨年度も文化祭・体育祭は非公開にさせていただきました。修学旅行も二年連続で中止になるなど、学校行事においては苦しい一年でした。本年度も、五月に行われるPTA総会は書面での実施とさせていただきます。

令和四年度高校総体は、応援参加では制限があるものの全競技で実施され、四国総体への参加もできました。今年度はインターハイが徳島でも行われ、本校もカヌー、弓道で参加が決定し、徐々にではありますが、生徒たちの活動が広がっています。生徒・職員一同「チーム那賀高」として安全・安心をこころがけ、万全の体制で日々の活動に取り組んでいきたいと思っております。

この春には、五十九名の生徒が卒業しましたが、四月八日新たに、森林クリエイト科二十名、普通科四十五名の生徒が入学し、新年度・新学期がスタートすることになりました。森林クリエイト科では、新入生に七期生を迎え、那賀町、県、国の関係機関の方々から生徒の教育に御協力をいただきながら、持続可能な循環社会の形成に向けた、

人と森林の新たな関わり方を創造し、地方創生を担う人材の育成をめざして、普通科ではコース選択制を取り入れ、二・三年生では「情報ビジネス」「福祉」「応用」の各コースに分かれ、より専門的・実践的に将来の進路に備えます。

いづれの授業においても、一方的な講義形式ではなく、「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習過程を取り入れ、生徒が「わかった」と実感できる授業を心がけています。本年度も、授業や進路指導の充実、生徒理解に基づいた生徒指導や人権教育など、那賀高校ならではの教育活動の推進に重点を置き、生徒が主体的に学ぶ活動を様々な場面で多く取り入れていきます。

さて、本校は昭和二十三年に徳島県那賀農業高等学校の驚敷分校及び延野分校(定時制課程 農業科、家庭技術科)を前身として設立され、昭和二十七年に徳島県那賀高等学校として独立しました。昭和四十八年に普通科の単独校となり、さらに平成二十八年には、林業・木材産業の一大拠点である那賀町に立地する本校に、新たに林業関係の学科である森林クリエイト科が設置されることになりました。林業に関する学習機会の充実を図ることで、豊かな森林資源を有効に活用し、林業を次代の循環型成長産業へと発展させ、中山間地域の活性化を担う人材の育成を図ることを目的としています。

そして、今年本校が誕生して七十周年の節目を迎えます。今日まで様々な面で地域の方々にはお世話になってまいりました。

那賀高等学校教育振興協議会は、本校創立当初の昭和二十七年十一月に現那賀町である丹生谷五力町村の方々に

よって組織されました。本振興協議会並びに那賀町から、本校は様々な支援をいただいていたことで、地域の学校としての役割を果たし続けることができました。奨学金の給付や生徒の通学費や運営費、各種検定費や国際交流の補助等、これまで他校では類を見ないほどの様々な援助をいただいていた。昨年度は、以前から設置していた新しいH.R教室のエアコンが新型に更新されました。本年度も六月十三日に総会が開催されており、この場をお借りいたしまして、改めて心からお礼を申し上げます。

また、地域の小中学校との連携を図るため、平成十三年度より、那賀郡内中学校との「連携型中高一貫教育」がスタートいたしました。中学・高校双方でのチーム・ティーチングや行事での交流等、幅広い活動を行っています。本年度も連携中学校からは、多くの生徒が入学してくれました。来年度も、連携中学校から多くの生徒さんに入学していただきたいと考えており、今年度の三年生の皆さんに説明をさせていただきたいと考えています。また、木育活動等で相生小学校との交流もさせていただいています。驚敷小学校の皆さんと一緒に例年行っているサツマイモの定植を、今年も六月に実施することができました。秋にはイモ掘りができそうです。

本校は県立学校の中では先駆けて、学校運営協議会制度を導入したコミュニケーション・スクールでもあります。今年度で三年目を迎え、地域住民・保護者・学識経験者の皆さんが学校運営や学校の諸課題に対して、学校とともに共通の目標を持ち、地域の教育力を生かしながら、よりよい学校をめざす取組を充実させることを目的としています。

本年度も五月十八日に第一回の協議会が開催され、各委員から那賀高校振興についての貴重な提言をいただくことができました。

以上のように、那賀高校は、地域の皆様から他校では類を見ない強力なサポートをいただいております。それは本校の教育活動の充実に大いに貢献してくれています。那賀高校は、地域の皆様方に支えられ、地域の皆様方とともに歩んでいく学校です。那賀町に対する感謝の気持ちを忘れず、ますます、地域とともにある学校づくりを推進していきたく考えています。

最後になりましたが、私たち那賀高校は、「協調・研学・誠実」の校訓のもと、「Dreams come true」夢が実現する学校をめざし、一致団結して魅力ある学校づくりを行ってまいりますので、本年も変わらぬ御支援・御協力をお願いいたします。

祝 徳島県立那賀高等学校入学式

入学式

4月8日(金)、那賀高校教育振興協議会会長(那賀町長)をはじめ、ご来賓3名のご出席をいただき、入学式を挙行了しました。普通科45名、森林クリエイト科20名、計65名が那賀高生として新たなスタートをきりました。新入生を代表して、今年度森林クリエイト科の中山北斗さんが、地域創生の担い手としての自覚を持ち、人と人との絆を大切に、勉学や部活動に励むことを宣誓しました。

入寮式

入寮式

4月8日(金)、入寮式を行いました。今年度は総勢17名の生徒が若鮎寮生・竜峰寮生となりました。寮生長の太岡顕志朗さんが歓迎の言葉を述べ、新入寮生代表として、廣内唯央さんが自らを律しながら自立を目指すというの寮生活への決意を宣誓しました。若鮎寮・竜峰寮の良い伝統が、新入寮生の皆さんに受け継がれていくことを期待しています。

県総体の振り返り

弓道部・カヌー部がインターハイ出場!

今年の県総体は有観客で実施する競技も多く、保護者や学校関係者、那賀高生が応援に行き選手たちが活躍する姿を目にすることができました。まだまだマスク着用や声を出しての応援の禁止など制限はありましたが、コロナ禍以前の雰囲気も少しずつ戻っていることを実感することができました。

そのような中、弓道部の2年生上田選手(森林クリエイト科)が個人戦で準優勝という好成績を残しました! その結果、四国総体とインターハイの切符を手に入れました。それに加えカヌー部が、今年度も団体・個人ともに四国総体、インターハイへの出場を決めました。

6月24日(金)に行われたインターハイ30日前イベントでは、生徒会役員のインタビューに対して、力強い言葉で決意を述べてくれました。7月中旬から始まるインターハイでは、更なる活躍を期待しています!

県総体

今年も県高校総体が実施され、本校からも多くの選手が出場、活躍しました!

カヌー部

県、四国総体ともに納得のいく結果で終わることができませんでした。この悔しい思いをバネにチーム一同頑張っていきます。

弓道部

今年の県総体は2年生の上田さんが好成績を残し、四国総体とインターハイに出場することができました。弓道部一同大喜びでした!

ソフトテニス部

私たちは悔しい結果で終わってしまいましたが、部員全員笑顔で楽しく、悔いの残らない試合ができたと思います。

バドミントン部

部員一人一人が個人の目標に向かってベストを尽くしました。目標が達成できた人もできなかった人もいますが、良い思い出になりました。ありがとうございました。

卓球部

団体戦は1回戦敗退、個人戦は各々の選手が力を出切ることができました。来年も頑張りたいと思います。

硬式野球部

僕たち硬式野球部は3位という結果で総体を終えました。これからは夏の大会に向けてより一層頑張っていきます。

バレーボール部

今回は限られた人数ではありましたが、観客入りが許可され、たくさんの応援をいただきました。応援のおかげで2日間戦えました。応援ありがとうございました。

コミュニティスクール (学校運営協議会)

徳島県教育委員会では、本年度すべての県立学校にコミュニティ・スクールの導入を行いました。本校では、令和2年度に県下の県立高校の中でもいち早くコミュニティ・スクールを導入し、毎年3回の協議会を開催して参りました。

今年度も、岡川委員長(那賀町教育委員会教育長)を含め7名の委員で、年3回の協議会を予定しております。この2年間はコロナ禍により、地域との連携のもと、本校の教育活動を充実させていくための活動は十分に行うことはできませんでした。しかし、本協議会の各委員を通じて、那賀町、徳島大学、大塚製薬株式会社等と連携を図り、研修会への参加や施設見学、講演会を実施することができました。

今年度は、5月18日(水)に第1回学校運営協議会を本校で開催しました。山本校長から、令和4年度学校経営方針を説明し、各委員の承認をいただきました。今後も、各委員の御助言をいただきながら、本校教育の充実・発展をめざしていきます。



那賀高校教育振興協議会

6月13日(月)に那賀町地域交流センターにおいて、会長の坂口博文那賀町長をはじめ本会員16名にご参加いただき、令和4年度の総会を開催しました。総会では、令和3年度事業報告や会計決算報告及び監査報告がなされ、続いて令和4年度事業計画等の議案が承認されました。また学校への提言として、「那賀町はICT教育に先進的に取り組む町であり、児童・生徒に1人1台のタブレットを持たせている。小学校・中学校と高校の連携をスムーズに推進するためにも、先生方のICT教育に対する支援と研修が必要ではないか。」とのご意見をいただきました。会長をはじめ役員の皆様方の期待に応えるべく、研鑽に努め地域とともに、そして生徒とともに歩んで参ります。今後ともご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。



2022 第18回消費者まつり

5月28日(土)「2022 第18回消費者まつり」に参加しました。第1部として、エシカルクラブの活動を発表し、消費者宣言を行いました。エシカルクラブ設立時から行っている「服活」の説明と成果、課題と今後の目標について多くの方々に知っていただくことができました。

午後からは、森林クリエイト科ブースで物販、服活ブースで服の譲渡を行いました。参加して下さった方からは「素敵な活動ですね。」「私も協力させてください。」と声をかけていただき、うれしくなりました。

第2部では、「ネット犯罪被害に遭わないために」と題した講演を聴きました。成年年齢引き下げに伴う若者の被害について詳しく知ることができました。



「フォレストキャンパス那賀」入山式

5月11日(水)13時10分から15時40分まで、雨の中那賀町喜来谷にあるフォレストキャンパス那賀で入山式が行われました。入山式には南部総合県民局職員5名の方々にご臨席いただき、森林クリエイト科13HR20名、教職員5名、徳島新聞那賀支局員1名が参加しました。入山式の後、南部総合県民局主任 井上氏より「那賀町の林業」について学習館で講義を受けました。その後、参加者全員でフォレストキャンパスのフィールドワークを行いました。



3年生 修学旅行



6月9日(木)10日(金)、1泊2日で3年生が修学旅行に行きました。1日目は大塚国際美術館・渦の道で徳島県の良さを再発見し、2日目はネスタリゾート神戸でアクティビティを満喫しました。

生徒の感想文より

- 「最後の晚餐」が特に印象に残りました。実物大で見るのは初めてだったので、とても迫力がありました。
- やはり芸術にふれると落ち着くと思いました。
- 絵画には謎が多く、何百年の間、人を魅了させていることを思うと、奥深く面白く感じました。
- 渦の道で鳴門の海を見て、自分は小さい存在だと悟りました。
- コース料理を初めて食べて、テーブルマナーの五原則など、知らなかった知識を得ることができてよかったです。
- ディナーではもの足りず、自由時間にラーメン屋に行きました。
- スカイイーグルはとても怖かったけれど、感じたことのない感覚で、空を飛んでいるみたいでした。
- ふれあい広場にウサギやヤギ、馬、羊がいて、特にウサギがもふもふでかわいかったです。
- どこに行くかではなく、誰と行くかが一番大切だなと感じました。
- 高校生活最後の修学旅行、このメンバーで行くことができ、最高でした。



木工作品の紹介

森林クリエイト科では、実習を通して那賀町で産出された木材を利用し、様々な商品を開発しています。

木材加工専攻班は、キッズチェアやスマホスピーカー等を作成しています。また地域資源専攻班は、「株式会社N&E」や「大塚製薬」など多くの企業と連携し、スマホスタンドやコースター等を作成しています。

これらの商品は、各企業や阿南市の「ホテルサンオーシャン」や「道の駅鷲敷」等で販売させていただいています。お立ち寄りの際は、是非ご覧ください。



刈払機取扱作業者 安全衛生教育



5月25日(水)、那賀町林業テクニクス学校のご協力のもと、森林クリエイト科1年生を対象に「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」講習を実施しました。7期生として初めてとなる林業関係の資格を取得することができました。機械操作など丁寧に教えていただき、皆が積極的に講習に参加していました。今回習得した知識や技術を、今後の林業実習に役立てていきたいと思ひます。